

第2部 環境施策の評価

(1) 岐阜市環境基本計画（令和5～9年度）の施策指標一覧

指標名	基準 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	推進状況 (令和6年度)	評価※
施策1 地球温暖化対策として脱炭素化を促進します				
1 温室効果ガスの排出量の削減				
①本市の温室効果ガス排出量	174.4万t-CO ₂ (令和元年度)	111.0万t-CO ₂ (2030年度)	176.7万t-CO ₂ (令和3年度)	△
②市有施設の温室効果ガス排出量	13万t-CO ₂ (令和2年度)	5.7万t-CO ₂ (2030年度)	9.9万t-CO ₂	○
③再生可能エネルギーの発電電力量	1,916 TJ	3,415 TJ	2,142 TJ	○
④地球温暖化対策に取り組んでいる人の割合	83.0% (令和4年度)	増加	81.8%	△
2 気候変動への適応				
①気候変動が及ぼす影響に関する周知啓発の実施回数	—	15回	2回	○
②企業のBCPの策定率	9.0%	増加	-	-
③市が行う省エネ再エネ関連設備の補助金の申請件数	172件/年	1,000件 /5年間	229件 /1年間	○
施策2 ごみを減量・資源化します				
1 廃棄物の減量と資源化				
①ごみの焼却量	122,831 t	100,000 t (令和7年度)	110,322 t	○
②紙類の年間回収量	14,927 t (推計値)	18,034 t (令和7年度)	11,472 t	×
③生ごみ減量に取り組む世帯数	430世帯 (ダンボールコンポストのみ)	1,000世帯	726世帯	○
④プラスチック製容器包装の資源化率	79.2% (令和4年度上半期)	85%	69.8%	×
施策3 生物多様性を保全します				
1 生物多様性の保全				
①生物多様性に関する広報の実施	2回	8回	28回	◎
②自然環境保全活動団体の活動支援回数	43回	43回	37回	×
③自然を守る取り組みをしている人の割合	34.4% (令和4年度)	40%	34.2%	△
④本市のレッドデータブックに掲載した生きものの保全に関する活動回数	16回	増加	25回	◎

※◎：目標以上、○：前進(基準より向上)、△：現状維持(基準比10%程度の増減を含む)、×：後退

指標名	基準 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	推進状況 (令和6年度)	評価※
施策4 生活環境を快適にします				
1 大気環境の保全				
①光化学オキシダントの環境基準の適合率	94%	96%	93.4%	△
②微小粒子状物質(PM _{2.5})の環境基準の適合率	100%	100%	99.7%	△
③ダイオキシン類対策特別措置法の対象事業場の基準の適合率	100%	100%	100%	◎
④アスベスト除去現場の漏えい基準の適合率	100%	100%	100%	◎
2 水・土壌環境の保全				
①河川水質基準の適合率	89.4%	100%	98.0%	○
②排水基準の適合率	92.7%	100%	94.7%	○
③地下水の概況調査における環境基準の適合率	100%	100%	100%	◎
④ダイオキシン類環境基準の適合率(水・土壌)	100%	100%	100%	◎
3 騒音・振動・悪臭の規制				
①騒音の環境基準の達成率(一般地域)	100%	100%	100%	◎
②騒音の環境基準の達成率(自動車騒音)	93.9%	95%	91.5%	△
③騒音の環境基準の達成率(航空機騒音)	100%	100%	100%	◎
施策5 環境意識を高めます				
1 環境教育の推進と環境意識の向上				
①環境学習をしている人の割合	43.8%	50%	38.0%	×
②出前講座の開催回数	206回	増加	198回	△
③子どもの環境意識	78.2% (令和4年度)	増加	75.9%	△
④こどもエコクラブへの参加団体数	33団体	33団体	25団体	×
⑤体験型環境教育の実施校数	14校	増加	38校	◎
2 市民協働による環境美化の推進				
①ごみゼロ運動・クリーンシティぎふの日運動における参加人数	41,883人	42,000人	51,429人	◎
3 環境重点地区の設定				
①生物多様性保全推進区域内での保全活動支援回数	33回	増加	25回	×
②中心市街地の歩行者・自転車通行量	38,600人/日	45,700人/日	37,869人/日	△

(2) 評価部会の委員と開催状況

委員氏名（所属等）		開催日	評価施策
部会長	小島 悠揮（岐阜大学工学部）	① 令和7年 7月30日	施策3「生物多様性を保全します」 施策4「生活環境を快適にします」
副部会長	名和 あけみ（長良川環境レンジャー協会）		
委員	渡辺 和歌（生活協同組合 コープぎふ）	② 令和7年 8月28日	施策1「地球温暖化対策として 脱炭素化を促進します」 施策2「ごみを減量・資源化します」 施策5「環境意識を高めます」
委員	小丸 奏（公募）		
委員	山田 信雄（公募）		

(3) 評価結果

◆施策1

指標数	推進状況（令和6年度）評価		評価部会の評価・意見	
6	◎（目標以上）	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前進が多いことは評価できる ・ 目標値との差が大きい項目もあるので、啓発活動等、できることから取り組んでほしい。 ・ 脱炭素化は重要施策なので、力を入れて取り組んでほしい。 	
	○（前進）	4		0%
	△（現状維持）	2		前進以上(◎・○)
	×（後退）	0		67%

◆施策2

指標数	推進状況（令和6年度）評価		評価部会の評価・意見	
4	◎（目標以上）	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ減量は着実に進んでいる。 ・ 項目②は紙の減産があるので難しいかと思う。 ・ 項目③は啓発活動に引き続き努めてほしい。 	
	○（前進）	2		0%
	△（現状維持）	0		前進以上(◎・○)
	×（後退）	2		50%

◆施策3

指標数	推進状況（令和6年度）評価		評価部会の評価・意見	
4	◎（目標以上）	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目①④については、大幅に増加しており、評価できる。 ・ 項目②について、推進状況が後退となっている。コントロールが難しいところではあるが、登録団体を増やすなど取り組みを行っていくということなので、回復するよう期待する。 ・ 項目③について、情報伝達の方法を工夫し、力を入れて取り組んでほしい。 	
	○（前進）	0		50%
	△（現状維持）	1		前進以上(◎・○)
	×（後退）	1		50%

◆施策4

指標数	推進状況（令和6年度）評価		評価部会の評価・意見	
11	◎（目標以上）	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価について、計画2年目の実績としてはある程度評価できる。 ・ 悪化したところは気になるので、原因を究明して、施策につなげてほしい。 ・ 市民の生活に直結する内容なので、引き続き漏れがないよう調査をし、必要に応じて対応してほしい。 	
	○（前進）	2		55%
	△（現状維持）	3		前進以上(◎・○)
	×（後退）	0		73%

◆施策 5

指標数	推進状況(令和6年度)評価			評価部会の評価・意見
8	◎(目標以上)	2	目標達成率(◎)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標以上が2つある点は評価できる。 ・現状維持や後退の指標については今後、力を入れて取り組んでほしい。 ・後退となっている項目でも団体数の減少で市でのコントロールが難しいと思うが、方法を考えながら向上に努めてほしい。 ・市民意識にかかわるところは、周知啓発を継続して取り組んでほしい。
	○(前進)	0	25%	
	△(現状維持)	3	前進以上(◎・○)	
	×(後退)	3	25%	

◆全体

指標数	推進状況(令和6年度)評価			評価部会の評価・意見
33	◎(目標以上)	10	目標達成率(◎)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年目で過半数が前進以上となっていることは評価できる。 ・5つの施策のうち、施策2の進捗状況が悪いので、特に力をいれて取り組んでほしい。 ・多くの指標の目標年度が令和9年度であるため、進捗が悪い指標については、それまでに目標を達成できるように、取り組み方法の改善見直しを行ってほしい。 ・中にはこのままでは目標達成がかなり厳しいものがあるが、取り組みを継続するよりは、何か新しい取り組みが必要ではないかと思う。
	○(前進)	8	30%	
	△(現状維持)	9	前進以上(◎・○)	
	×(後退)	6	55%	

(4) その他意見等

◆評価部会の意見

<p><指標に関すること></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>施策1 指標1-①「本市の温室効果ガス排出量」</u> <ul style="list-style-type: none"> ・最新値が4年前のものであるので、前年度分を評価できるデータを出せると良い。 ▶<u>施策1 指標2-①「気候変動が及ぼす影響に関する周知啓発の実施回数」</u> <ul style="list-style-type: none"> ・基準が0なので前進となっているが、目標とは程遠いので前進ととらえていいのか疑問である。 ▶<u>施策2 指標2「紙類の年間回収量」</u> <ul style="list-style-type: none"> ・紙の減産により紙の回収量が減っている状態だが、紙の排出量が減っていることは反映できていないので、組成調査や開封調査の結果も補助的に掲載するのも良い。 ▶<u>施策2 指標3「プラスチック製容器包装の資源化率」</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製容器包装の分別方法について今一度啓発活動を行う必要がある。 ▶<u>施策3 指標3「自然を守る取り組みをしている人の割合」</u> <ul style="list-style-type: none"> ・属性を分析して、適切に意識啓発活動を行って頂きたい。 ▶<u>施策4 指標2-①「排水基準の適合率」</u> <ul style="list-style-type: none"> ・表が分かりにくいので、注釈をつけるなど工夫して頂きたい。 <p><アンケートに関すること></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>施策3 指標3「自然を守る取り組みをしている人の割合」</u> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの基準を明確にすべき。条件を揃えて取らないと、比較の対象にならない。問いが抽象的であるので、具体的にした方が良い。

◆環境審議会の意見

令和7年11月11日の環境審議会の会議において、評価部会による評価結果をとりまとめた評価報告書をもとに報告を行いました。

<指標に関すること>

▶**施策3** 指標3「自然を守る取り組みをしている人の割合」

- ・単に絶対数が減ったことだけでなく、支援割合のような数値を補足で付け加えておく方が良い。